

治安情報 2013 年 第 1 四半期報告書

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞 サイト	プログレ紙 EDF 公式サイト	2013 年 3 月 31 日	2013 年 1 月～3 月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目：			

報告要旨

- I. ローヌ県 2012 年治安データ：暴力窃盗は減少傾向、空き巣は増加傾向

- II. 空き巣の増加：リヨン都市共同体で顕著な傾向

- III. 税務署、フランス電力会社（EDF）、銀行... 詐欺に要注意

I. ローヌ県 2012 年治安データ：暴力窃盗は減少傾向、空き巣は増加傾向

昨日の 2012 年犯罪件数に関するローヌ県知事の発表によると、ローヌ県では 2011 年と比較して全体的に安定化の傾向にあるが、空き巣が増加している。

暴力窃盗は減少

全体的に暴力窃盗事件が 2.7%減少。路上での女性に対する暴力窃盗も、フランス全国では 9%上昇しているが同県では 2.18%減少している。言いがかりをつけるなどの故意の暴力もマイナス 4%の結果となった。「身に付けている貴金属・宝石類を無理矢理奪う犯罪に関しても、全国的な増加傾向はローヌ県には該当していない」という。

強盗事件についても、2011 年の 216 件に対して 2012 年は 189 件で 14%減少した。

殺人未遂が大幅に増加

「故意による身体的な暴力」では、性的暴力行為が全国レベルで 12%以上の増加が見られているのに対し、ローヌ県ではマイナス 3.62%の結果となった。

殺人事件も大幅な減少を見せ、2011 年の 16 件に対して 2012 年は 6 件にとどまり、うち未解決の事件は 1 件のみである。

但し、殺人未遂は、前年度の 16 件に対して 2012 年度は 34 件が報告され、112%増となっている。また、家庭内暴力も 5%の増加が見られた。この結果について、管轄県庁では、犠牲者に対する支援措置の強化によって被害の届出が容易になったためと見ている。

個人住宅を狙った空き巣の犯行件数は 7521 件

財産を対象とした被害は 2011 年比で 7%増えており、特に個人住宅を狙った空き巣が 12%増と最も多くなっている。反対に、会社事務所や工場、商店を狙った空き巣はマイナス 15%で明らかに減少化の傾向にある。個人宅を狙った空き巣増加の一因として、金の相場価格が相変わらず上昇傾向にあり、売買が容易なことが挙げられる。

車の放火件数は減少

ローヌ県での 2012 年度の車放火台数は 1841 台で、2011 年の 1988 台を下回る結果となった。

交通安全：3 年連続で死亡者減少

ローヌ県における 2012 年度の県道での自動車事故による死亡者は 52 人（2011 年は 68 人、2010 年は 75 人、2009 年は 77 人）で、3 年連続で減少化傾向にあり、2009 年以来 32.47%の減少となっている。また、重症者数も 2011 年の 613 人に対して

2012年は462人（マイナス24.6%）にとどまった。

死亡者の内訳を見ると、軽自動車で25人（2011年は24人）、オートバイ利用者が14人（2011年は23人）、18歳未満が1人（2011年は10人）となっている。過失致死の主な原因として、優先無視、スピード違反、および飲酒運転が挙げられる。

（以上プログレ紙、1月25日付）

II. 空き巣の増加：リヨン都市共同体で顕著な傾向

警察による取締りの強化にもかかわらず、リヨン都市圏での空き巣、特にフ個人住宅を狙った犯行は増加する一方だ。

すでに2011年にこの傾向が見られたが、商店やオフィスを狙った空き巣が大幅に減少したため、全体的な伸びは抑えられた。2012年の数値を見ると、空き巣の報告件数は8040件にのぼり、2011年比で15%の増加が確認された。そのうち、個人住宅の被害が半数以上を占めており、2011年の15%の増加に続いて16%増となった。商店の被害件数は、警報装置や防犯カメラの設置強化等のお陰で1057件と18%の減少を見せている。地下室や車庫を狙った空き巣は、2011年の1779件から2012年には2347件と一気に31%増加した。警察によると、経済危機の影響で、一度に10軒ほど地下室を回ってワインを数本盗むといった「小規模な犯行」が目立つという。但し、リヨン都市圏全体での増加傾向に反して、リヨン1区、2区、6区、7区、およびMulatière、Saint-Priest、Saint-Fonsでは減少している。

もうひとつの特徴として、地域にかかわらず空き巣の5件に1件が、特に東欧出身の移動生活者の犯行であることが挙げられる。2012年にリヨン都市共同体で空き巣の犯行で逮捕された人の22%が、ルーマニア、グルジア、セルビア、クロアチア、モルドバの出身者だった。

2013年1月からも、空き巣の犯行は引き続き増加傾向にあり、個人住宅関連の事件の検挙率は12%に達している。

リヨン都市共同体における空き巣の犯行（2011年/2012年比較）

	2011年	2012年	傾向
リヨン1区	251件	192件	24%減
リヨン2区	347件	246件	29%減
リヨン3区	722件	985件	36%増
リヨン4区	177件	209件	18%増
リヨン5区	224件	261件	17%増
リヨン6区	467件	459件	2%減
リヨン7区	513件	662件	29%増
リヨン8区	468件	645件	38%増
リヨン9区	430件	394件	8%減
合計（リヨン）	3599件	4053件	13%増

Ecully	54 件	140 件	159%増*
Rillieux	86 件	206 件	140%増*
Chassieu	64 件	106 件	66%増*
Bron	232 件	280 件	21%増
Caluire	277 件	310 件	12%増
Décines	162 件	175 件	8%増
Meyzieu	135 件	192 件	42%増
Oullin	155 件	194 件	25%増
Pierre Bénite	47 件	79 件	68%増
Ste-Foy	143 件	205 件	43%増
La Mulatière	43 件	41 件	5%減
St-Priest	423 件	260 件	39%減
Vaulx-en-Velin	296 件	300 件	1%増
Vénissieux	314 件	431 件	37%増
St-Fons	114 件	109 件	4%減
Feyzin	78 件	93 件	19%増
Villeurbanne	791 件	866 件	9%増
合計（リヨン都市圏）	7013 件	8040 件	15%増

* Ecully、Rillieux、Chassieu の自治体は、2011 年 7 月に警察管轄に移行。これらの自治体で増加率がきわめて高くなっている理由は、2011 年度のデータは 6 ヶ月間にわたるもので、2012 年の 12 ヶ月間と比較されているため。

（以上プログレ紙、1 月 27 日付）

III. 税務署、フランス電力会社（EDF）、銀行... 詐欺に要注意

1 月 27 日、85 歳のお年寄り女性が、税務署の職員と名乗る人物から、税金の不正申告による未納額を要求され、48 時間以内に送金しないと罰金も支払わなければならないという電話を受けた。慌てて郵便局に支払いに行ったところ、郵便局職員がその話を不審に思い、詐欺行為だと見破った。

昨年夏にも同じ手口を使った詐欺事件が報告されており、税務署全国コールセンターには、このような電話を受けたという苦情が 1 日に 4、5 件寄せられるという。特にお年寄りからの連絡が多い。国税局では、過少申告分の支払いを電話で請求することは決してなく、必ず郵便で通達があり、支払いは税務局（Trésor public）宛ての小切手、または自動引落しで行われるものとしている。

上記のような被害に遭って支払いを行ってしまった場合は早急に銀行で引落しを停止して刑事告訴すること。

一方、フランス電力会社（EDF）からのメール通知や SMS を装った詐欺も横行している。電気料金が納金されておらず、このまま支払わない場合は電気供給を停止するという脅しの内容を含むもので、そっくりのロゴが使用されている。EDF では、銀行口座番号は同社ホームページの顧客ログインページ（Espace Client）でログイン名とパスワードを入力した後に要求されること、および E メールによる支払い請求は行っていないことを指摘しており、不正なメールを受信した場合はもちろん口

座番号情報等は絶対に入力しない、返信、転送しない、添付文書を開けないよう呼びかけている。EDF ではまた、このようなメールを受け取ったことを通知する専用メールアドレス（messages-frauduleux@edf.fr）を設置している。

（以上プログレ紙、2月6日付）

EDF からのアドバイス

- ✓ メールアドレスの確認：EDF の正式なメールアドレスは、@edf.fr、@edf.com、@suivi-client-edf.com、@relation-client-edf.com、@newsletter-edf.com、@communication-edf.com、@bleu-ciel-edf.com、または@info-edf.com で終わるようになっています。
- ✓ 顧客ログインページ（Espace Client）のアドレスの確認：EDF の正式なページのアドレスは、<https://monagence.edf.fr> または <https://monagencepart.edf.fr> です。つまり、http ではなく https で始まります。
- ✓ 入力フォームページまたはオンライン支払いページ：安全な閲覧を保証する南京錠のロゴが付いていることを確認してください。
- ✓ メールメッセージのフランス語：スペルミスや構文の間違いなど怪しい点に留意してください。
- ✓ スマートフォンでは送信元のメールアドレスが完全に表示されないの確認が難しくなります。その場合、Web ブラウザのアドレスバーに表示されるアドレスに注意してください。

（以上 EDF 公式サイト <http://particuliers.edf.com/aide-et-contacts/arnaque-et-phishing-82736.html> から）

IV. 報道機関に現れない邦人関連事件、当事者、関係者より聴取(リヨン在住30年ガイド)

1、「ガイド中にグループから少し離れた邦人観光客がジプシーらしき子ども達に囲まれ色々言われそちらに注意が行っている隙に、後ろから手持ちのハンドバックが開けられ、財布を盗られた。2012年6月。ガイド談」

2、「日本研究者が一階研究室で自分のノートパソコンを使っている際に、2人組の見知らぬ者が場所を尋ねている間にパソコンを強奪し、逃走。2012年9月。本人談」

3、「ホテルに深夜から早朝にかけ模擬ピストルを持った強盗が侵入、フロントを脅し客室のマスターキーを盗り、各部屋に侵入しようとしたが、鍵以外に鎖がかかっていたために、一部屋鎖がかかっていなかった邦人宿泊客の部屋だけに侵入、ドアの近くに置いてあったバックを盗み、逃走。途中現金、カードを抜き取ったバックを捨てる。警察が部屋に行って質問するまで邦人宿泊

客は分からず。2012年10月。ガイド談。」

4、「ホテルの朝食時にハンドバックを置いたまま食事を取りに行き、わずかな隙にハンドバックが盗難にあう。2012年11月。本人談」

5、「邦人学生が自分の学生寮に入り自室に入ろうとするところを付けていた不審者に押入れられそうになった。幸いにも大声で他の学生がやってきたので、不審者は逃走。
2012年12月。本人談」

6、「駅構内において邦人旅行者が不審者にケチャップをかけられ、その汚れを取ろうとしている隙に、他の不審者にハンドバックを盗難される。2013年1月。ガイド談」

7、「知人のフランスの警察官からの話では、最近アジア系の女性に対するマニアック的な接近がふえている。2013年2月。」

以上の事件から用心の上にさらに用心を重ねての行動によってある程度事件を防ぐ事が出来ると思われる。